

日本共産党区議団

小島和男

区政二ユース



2018・3
NO 888

発行

荒川区荒川2-1-13区役所内・5階控室
3802-4627
〒114-8502 arajcp@tcn-catv.ne.jp
事務所 東日暮里三・十八・四
電話 三・八九一・八八八四
FAX 三・八九一・八九一二
自宅 東日暮里六・二十一・五
電話 三・八〇六・九五五二



法律相談会

4月11日(水)
午後6時より
小島和男事務所
弁護士へのご相談は小島事務所に
ご連絡下さい！
<連絡先>
小島和男事務所
3891・8884
小島和男携帯電話
090・4361・9202

子どもの貧困対策の充実を

子どもの7人に1人は貧困

日本の子どもの貧困は13.9%、約7人に1人は貧困ラインを下回っています。区も重視しているが現状をリアルにみて対策強化が必要です。

高校奨学金制度入学準備金貸付に、返済免除規定を盛り込んだことは一歩前進ですが、成績要件・連帯保証人などの改善を行うこと。

全国で83自治体が学校給食無償化を実施。一部補助を加えると181の自治体で実施。給食費は、全国平均でも小学生で4・3〜5・3万円、中学生で、5・9万円と負担も大変なことから、区で無償化に踏み切ること。

高校生の医療費無料化について、16・17才では、貧困率が24%です。区として15才〜22才までの生活実態調査を行うこと。18才までの無料化を実施することなどを求めました。

東日本大震災を風化させず原発ゼロ社会実現を国に働きかけを

東日本大震災から7年を迎え、被災者支援の強化が必要なのに、政府は支援策・復興策の縮小、打ち切りは問題です。原発事故で、福島県では、現在でも、だに5万人近くがふるさとを奪われ、戻ることができません。

一方政府は、原発輸出・原発再稼働推進と行い、福島第一原

発事故の賠償や支援打ち切りを進め、原発事故の処理費用は21・5兆円、原発廃炉の費用などさらに巨額費用が必要です。「核のゴミ」の処理方法もなく稼働で増え続けており、原発政策は破綻。大震災を風化させないこと。原発再稼働中止、原発ゼロ社会実現を区長として国に働き掛けるよう求めました。



入院中の高齢者の家族からご相談が

5年前からは高齢の母親の介護で同居し頑張ってきたが母親が病気で入院。最近、嫁も病気で入院が必要となり、主人だけでは母親の介護もできず、どうしたら良いかとの相談がありました。

高齢者福祉課に連絡し、収入ない母親は世帯分離で医療費負担の軽減。病院の移転先の紹介。特養ホーム(介護4で、家族の入院などから緊急性が高い)入居まで半年程度で可能だと分かり一安心。

新規事業「高齢者の銭湯見守り」

区が現在考えているのは『行き帰りはボランティア・入浴中はヘルパー事業所委託で脱衣所で見守り』です。

ボランティアが一時間も立たずして又迎えに行く！

銭湯に入らず目で追って見守り？

一緒に行って一緒に入り一緒に帰る方が合理的ではないでしょうか。

合わせてふる割200の回数を増やして、ゆっくり手足を伸ばして湯船につかっていただく生活と健康面からの支援を強化したらどうでしょうか。

銭湯がなくなってしまった地域では銭湯送迎乗合バスを出すのはどうでしょう。

旧真土小跡地広場トイレを設置することに

旧真土小跡地については、大規模再開発が実施されるまで3つ広場として暫定利用することになっていますが、暫定利用なので、お金のかかるトイレは設置できないとしていました。

旧真土小跡地の広場では、高齢者・保育園児などが多く利用することからトイレの設置を求める声が寄せられました。



財務省の文書書き換え疑惑の徹底解明を

森友学園への国有地売却をめぐる財務省が省内で作成した決裁文書が書き換えられたとの疑惑。原本では「学園側の提案に応じ」や「価格提示を行うこととして要です。」

日暮里幼稚園で預かり保育を2018年4月から実施と掲載しましたが、2019年4月実施でした。お詫びして訂正します。

認可保育園の第一次申込み審査結果 認可保育園不承諾者が303名に...

今年度4月の認可保育園の第一次入所審査結果が発表されました。

入園申込みは1,509名（前年より80名減）うち、入園内定は1,184名と昨年より75名増加しました。

一方で不承諾（落選）通知のお子さんは303名（前年比、134名減）とまだまだ狭き門

が続いています。東西日暮里地域では、不承諾者が88名と他の地域より多いのです。あらゆる手立てを尽くして待機見ゼロにすることを求めています。



年令別 地域別	0才児		1才児		2才児		3才児		4才児		5才児		合計	
	申込数 不承諾 内定者数	[]内 指数20 以上	申込数 不承諾 内定者数	[]内 指数20 以上	申込数 不承諾 内定者数	[]内 指数20 以上	申込数 不承諾 内定者数	[]内 指数20 以上	申込数 不承諾 内定者数	[]内 指数20 以上	申込数 不承諾 内定者数	[]内 指数20 以上	申込数 不承諾 内定者数	[]内 指数20 以上
南千住	122	[87]	162	[143]	50	[23]	51	[22]	6	[3]	4	[2]	395	[280]
	11	[4]	31	[17]	8	[0]	7	[0]	1	[0]	0	[0]	58	[21]
荒川	106	[78]	128	[123]	42	[23]	43	[21]	5	[3]	4	[2]	328	[250]
	68	[55]	85	[62]	27	[17]	26	[13]	1	[0]	1	[1]	208	[148]
町屋	8	[1]	17	[6]	7	[2]	1	[0]	1	[0]	0	[0]	34	[9]
	60	[54]	65	[54]	19	[14]	25	[13]	0	[0]	1	[1]	170	[136]
東尾久	55	[34]	78	[59]	38	[22]	12	[7]	1	[1]	0	[0]	184	[123]
	10	[3]	16	[3]	13	[4]	0	[0]	0	[0]	0	[0]	39	[10]
西尾久	45	[31]	62	[56]	25	[18]	12	[7]	1	[1]	0	[0]	145	[113]
	51	[36]	78	[61]	34	[23]	15	[6]	0	[0]	4	[3]	182	[129]
東日暮里	11	[3]	18	[9]	9	[4]	3	[0]	0	[0]	1	[1]	42	[17]
	39	[32]	60	[52]	24	[19]	12	[6]	0	[0]	2	[2]	137	[111]
西日暮里	41	[36]	73	[52]	30	[15]	10	[4]	2	[1]	2	[2]	158	[110]
	5	[4]	20	[6]	14	[5]	2	[0]	1	[1]	0	[0]	42	[16]
東日暮里	36	[32]	53	[46]	16	[10]	8	[4]	1	[0]	2	[2]	116	[94]
	69	[56]	84	[61]	25	[10]	27	[14]	1	[1]	0	[0]	206	[142]
西日暮里	13	[4]	27	[8]	10	[2]	5	[0]	0	[0]	0	[0]	55	[14]
	55	[51]	56	[8]	15	[8]	20	[13]	1	[1]	0	[0]	147	[126]
合計	53	[38]	73	[60]	22	[13]	26	[16]	2	[2]	0	[0]	176	[129]
	11	[2]	16	[6]	3	[0]	2	[0]	1	[1]	0	[0]	33	[9]
合計	42	[36]	56	[53]	19	[13]	23	[15]	1	[1]	0	[0]	141	[118]
	459	[342]	633	[498]	226	[123]	167	[82]	13	[8]	11	[8]	1,509	[1,061]
合計	69	[21]	145	[55]	64	[17]	20	[0]	4	[2]	1	[1]	303	[96]
	383	[314]	480	[437]	160	[105]	143	[79]	9	[6]	9	[7]	1,184	[948]

生活実習所、早期に増設を

日中の生活の場を保障する重度障害者施設は、2、3年で定員が一杯。車いすやベッコなどの障害者が多いことから急いで施設増設を行うこと。



区内の福祉作業所には調理室のない作業所が多く、一か月の工賃のほとんどが弁当代に消えています。区独自に食事代補助を行うようつこと。

（2018年から6年間）で、基幹型の障害者相談支援センター設置を検討。23区中、14区で設置されていますが、7区は報酬単価の低い民間では運営が大変です。荒川区では区が責任持ってセンターを設置すること。

区財政投入で介護保険料引き下げを強く求める

第7期高齢者プラン（2018年から3年間）では、介護保険料が5.62%、3.812円値上げとなつています。区の一般財源を投入して保険料の引き下げを行うこと。

名の高齢者が区外の施設に入所。特養やサービス付き高齢者住宅など整備して区内で生活できるようにすること。女子医大・駒込病院、日医大など通院するために高齢者はバスや電車の乗り継ぎますが、やはり一苦勞です。70才以上の高齢者にタクシー利用料金助成事業の実施などを求めました

都のシルバークラス、21,510円を区独自補助を行って5,000円程度で利用できるようにすること。介護が必要な800



（仮称）「日暮里地域活性化施設」に創業支援施設を設置

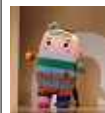
〔31年12月竣工を予定 開設時期は未定〕

旧日暮里区民事務所と取得した裏の土地と合わせて、区民事務所と地域活性化施設を建設します。

開設予定地は日暮里駅に近い日暮里繊維街のほぼ中央に位置し、ファッション関係の若手クリエイターの支援を目的としたインキュベーション施設が入る予定です。



施設概要（建物内5階部分を予定）
【アトリエ（事務所兼創作スペース）】個室5室【入居者用の共同利用施設】工房、打ち合わせスペース、宅配ボックス、給湯室等
【事務室】インキュベーションマネージャーを配置 入居条件等、詳細は未定



都市計画道路補助 92号線計画の見直しを

西日暮里4丁目の92号線20m道路拡幅計画に4丁目の7割の住民が反対。都も住民合意がないとできないと言いますが、都は新年度予算を計上、引き続き計画推進の立場です。国が最終直後に計画した都市計画道路について、事業の実施区域であつても、住民の反対や自然環境破壊につながる計画は見直すとしており、政令指定都市では、すでに2、3割が見直ししています。国の見直し方針からみても西日暮里地域も当てはまります。すでに西日暮里3丁目、上野区間が廃止となつていることから、計画の見直しを都に働き掛けるよう求めました。

